

審議テーマに関する意見一覧表（準備会議、第1回・第2回区民会議、第1回運営部会でも出された意見）

委員の発言要旨	抽出した問題点	課題	取組のテーマ(方向性)	区民会議としてのこれまでの取組 (第3期までの取組など)	今後の取組アイデア (区民会議として何ができるのか)
親子で防災を学ぶため、第3期で作成した防災紙芝居を活用したい。(反町委員)	・防災意識は震災を契機に高まっているが、さらなる向上が必要。	・さまざまな世代に向けた防災情報の発信が必要。	個人を対象とした啓発活動や情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・区民会議委員所属団体や子育てサロンで「ぼうさい出前講座」を実施した。 ・市民提案型事業として、子どもを対象とした防災紙芝居を実施するとともに、区役所での貸し出しを開始した。 ・子育て情報ガイドブックに防災関連の情報を掲載した。 ・「防災ネットワークエリアマップ」を保育園やこども文化センターへ配布、掲示した。 ・中原区防災フェアの実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第3期で取り組んだ防災紙芝居の取組を継続して広げる。 ・外国人市民へ既存の媒体等を活用して情報提供する。
外国籍の住民にとっては、町内会(≒自主防災組織)の仕組みも理解しにくい。(中森委員)	・外国人市民の方に、情報が行き届いていない可能性がある。	・外国人市民の方に配慮した情報提供の検討が必要。			
備蓄の問題が行き渡っていない。商店街と連携して備蓄品をPRできるのでは。(橋本満昭委員) 個人の備蓄は震災を契機に充実してきているが、まだ不十分である。(塚本委員) 避難所には限りがある。自助が大切だと認識してもらわなければならない。(富岡副委員長)	・家庭での食料、水、簡易トイレなどの備蓄、家具の固定が不十分。	・減災の考え方や備蓄に関する普及啓発が必要。	家庭内での自助の普及に向けた取組	特になし	<ul style="list-style-type: none"> ・備蓄の促進に向けた取り組みを行う。 ・家庭にあるものを活用した備えを検討する。 ・備蓄品を活用した食の工夫の訓練(アルファ米、缶詰料理の工夫など)。
地域におけるリーダーの充実が必要。(梅原委員)	・災害時に地域で主体的に判断して動ける「リーダー」となる人は少ない。	・地域内のリーダーをどのように発掘するか、防災に興味を持つ方と地域をどのように繋げるかの検討が必要。	地域における防災訓練の実施と地域内の人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練未実施地区での訓練実施を促進した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域特性を踏まえた災害図上訓練(DIG)をワークショップなどを交えながら実施する。 ・防災資器材を活用したイベント(ゲーム)などを実施する。 ・子どもを対象とした訓練(DIGなど)を実施する。
日中で親がいないときに災害が起こることを想定した防災訓練であれば、若い世代の関心を集めることができるのではないかと。(板倉副委員長、稲富委員)	・日中に震災が発生すると、共働き家庭の親は帰宅困難になり、子どもたちだけになってしまう。	・中学生の力を活用するなど、子どもだけで被災した時の対策の検討が必要。			
より現実に即した防災訓練を行う必要がある。(川連委員長) 防災資器材は自主防災組織で配備しているが、ほとんどの人が使い方を知らない。(塚本委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練で使用する道具が家庭に無いものばかりなど、訓練の内容が現実に即していない。 ・防災倉庫などの備蓄品や防災設備を知らない、使えない住民が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭にあるものを活用した防災訓練など、現実に即した訓練が必要。 ・防災備品や設備の確認、試用が必要。 			
積極的な取組を行っている自主防災組織の取組事例を発信してはどうか。(反町委員) 自主防災組織と町会、民生委員が連携した防災訓練が必要。(富岡副委員長) 地域住民の交流が進むことで自主防災組織も機能をより発揮できる。(尾木委員)	・自主防災組織が地域で取り組んでいる内容は、地域によって差がある。	・地域間での格差の解消に向けた取組が必要	自主防災組織、避難所運営会議などの活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・防災ネットワーク連絡会議を開催した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活発な活動をする自主防災組織、避難所運営会議の事例を広く発信する。 ・現状の自主防災組織や避難所運営会議等の取組状況を確認し、発信する。
集合住宅の防災対策がよくわからない。(岡本委員) 住民間のネットワークづくりを通じた防災対策を行いたい。(塚本委員) 大型マンションで行ったフロア交流会は満足度が高かった。(塚本委員)	・マンションでは、停電によってエレベーター、トイレ、要援護者の救護が特に問題となる。	<ul style="list-style-type: none"> ・管理組合(自主防災組織)単位での備え・安否確認・被災後の支援体制づくり ・マンション同士の助け合い体制づくり ・近隣住民同士の連携方法の検討が必要 	大型集合住宅における防災対策	特になし	<ul style="list-style-type: none"> ・地域特性を踏まえた災害図上訓練(DIG)をワークショップなどを交えながら実施する。 ・マンションなど新たにできた建物・設備についての防災活動を、他事例などを学びながら検討。